

【小施策評価(平成29年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	1	人がいきいきと暮らすまちづくり	小施策 主管課等	地域福祉課	
施策	1	地域福祉の推進	評価 責任者	藤澤 多津子	内線 2520
小施策	1-2	共に支え合うことができる地域環境づくり	評価 シート 作成者	熊谷 修二	内線 2521

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
隣近所付き合いの希薄化と活動の担い手不足などによる地域の支え合い体制への懸念や除雪や買い物といった日常生活支援に対するニーズが高まっている。 団塊の世代や若い世代の地域活動への参加促進などを通じた担い手の確保、見守り活動やサロン活動の推進、日常生活支援の活動拠点づくり、地域福祉を担っている地区福祉推進会への支援などにより、地域において支え合う環境を整備する必要がある。		一人ひとりが地域の一員として、共に支えあう意識を持ち、住み慣れた地域で、誰もが地域の一員として尊重され、自立した生活を送ることができる環境の整備を推進する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(対象をどのようにしたいのか)
市民, 地域		共に支え合うことができる環境が地域に醸成される。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成29年度実績)

実績値の推移				実績の評価															
指標①	単 位	目指す方向	成 果 点	⇒	成果の要因分析														
避難行動要支援者情報提供同意者名簿登録者数 (町内会長等への情報提供に同意した人の数)	人	↗	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中心部にある地区福祉推進単位地区をモデル地区として、地域住民とマンション住民が抱える諸課題について、関係者同士の情報交換会を開催した。 ・郊外にある地区福祉推進単位地区をモデル地区として、共に支えあう意識を涵養するため、ボランティア養成講座を開催した。 ・避難行動要支援者名簿への登録同意が得られた方に対し、災害発生時に避難行動を取る際の補助となる「あんしん連絡バック」を配布し、防災に備えた。 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の身近な圏域で、住民が主体的に地域課題を把握して、解決を試みる体制づくりを進める観点から、モデル地区を指定して実施したことで、当該地域における問題点を把握することができた。 ・全国で毎年の様に非常災害が群発することから、住民による防災意識の高まりがある。 														
当初値 (H25) 12,545	H31目標値 14,000	H36目標値 14,000	問 題 点	⇒	問題の要因分析														
<table border="1"> <caption>避難行動要支援者情報提供同意者名簿登録者数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値 (H25)</td> <td>12,545</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>13,819</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>13,718</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>13,737</td> </tr> <tr> <td>H31目標値</td> <td>14,000</td> </tr> <tr> <td>H36目標値</td> <td>14,000</td> </tr> </tbody> </table>			年度	登録者数	当初値 (H25)	12,545	H27	13,819	H28	13,718	H29	13,737	H31目標値	14,000	H36目標値	14,000	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を求める地域住民に対し、支援を提供したいと考える方が地域にも潜在的にいるものの、実際の支え合い活動が機能するところでは至っていない。 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・世帯構成の多様化や、地域コミュニティの希薄など地域社会を取り巻く環境が変化しており、地縁を中心とした地域福祉活動が、その機能を十分に発揮できない状況になっている。
年度	登録者数																		
当初値 (H25)	12,545																		
H27	13,819																		
H28	13,718																		
H29	13,737																		
H31目標値	14,000																		
H36目標値	14,000																		

今後の方向性(平成30年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…30年度着手済または着手予定 ☆…31年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> ★ モデル地区を複数選定し、地域課題解決を自主的に試みる体制づくりを支援する。 ★ 社会福祉協議会を通じ、ふれあいのまちづくり事業として、地域団体が高齢者のつどいの場等を創出するシルバーメイト事業等を開催し、地域福祉活動の充実を図った。 ★ 避難行動要支援者避難支援者名簿を年1回更新し、支援対象者の把握に努めている。 ☆1 モデル地区の結果を踏まえ、地域課題を解決する試みについて対象地区を広げるなど拡充を図る。 	